

小児集中治療における身体拘束についての横断調査についてのお知らせ

2019.1.23

このたび、滋賀医科大学医学部附属病院 救急・集中治療部では、『小児集中治療における身体拘束についての横断調査』を行うこととなりました。

この研究の目的は、当院集中治療室に滞在した患者の身体拘束実施率、身体拘束と関連する因子を明らかにすることです。

この研究のため、平成31年2月1日から平成31年8月31日までに、当院集中治療室にご入室いただいた患者様の身体拘束の実情に関する調査をさせていただきます。

対象となるのは調査日に当院集中治療室で治療を受ける入室時生後1ヶ月以上10歳未満の小児患者です。調査項目は、個人情報に含まない医学的な情報（年齢、診断名、基礎疾患、身体拘束実施の有無、身体拘束の方法、データ収集時の呼吸管理状況、データ収集時の侵襲的治療、データ収集時の鎮静レベル、データ収集時の鎮痛・鎮静剤使用状況、集中治療室滞在日数、退室時転帰など）です。データ上では全ての患者様は匿名化されており、患者様のお名前、住所などプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありません。また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担が生じることはありません。収集したデータはオンラインデータベースに登録しデータ解析します。主研究施設は大阪母子医療センターで当院はデータ収集を行う研究協力機関になります。同意は自由意志であり、データの使用を拒否しても診療上の不利益はありません。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、本研究の研究対象患者様が、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手または閲覧をご希望される場合、個人情報の開示の求めがあった場合、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で、地方独立行政法人大阪府立病院機構 個人情報の取扱及び管理に関する規程に基づいて、開示手続きをとります。ご希望される場合は、下記の間合せ先までご連絡ください。

滋賀医科大学医学部附属病院 救急・集中治療部

清水淳次

電話 077-548-2929（代表）